

エクステンジプログラム報告書

1. 被招へい者（被派遣者）全員の氏名・所属・身分とそれぞれの滞在期間・滞在先

被招へい者：Pan Kang-Shian (IANCU, 専任助理)

滞在期間：2012/6/24 – 7/17

滞在先：CPS

2. 受け入れ担当者の氏名・所属・身分

谷川 享行 (CPS/北大低温研、PD)

3. 招へい（派遣）の目的（200字程度）

CPS の主要な連携研究機関である台湾 IANCU (Graduate Institute of Astronomy, National Central University) の学生が、CPS 9th International School of Planetary Sciences に参加するための支援、および相互人材交流の促進。

4. 成果報告（用紙が不足の場合は足してください）

プラネタリスクールは CPS が主催する最も重要なイベントであり、今や第9回目を数え国際的にも認知度が上がってきている。そのプラネタリスクールに、CPS と相互交流を目的とした MOU を交わしている IANCU から参加者がいることは我々の望むところである。そこで、参加を希望していた Pan Kan-Shian 氏を招へいし、プラネタリスクールに参加してもらった。プラネタリスクールでは国内外からのトップサイエンティストのレクチャーを受け、また多くの参加者と交流を深め、大変有意義だったと聞いている。さらに、CPS へも 3 日間滞在し、CPS の人とも交流を深めた。またこの滞在期間中に、神戸大学の大槻研究室を訪問し、幅広い話題について大槻教授と相談した。また大槻研究室の学生とも交流を深め、人脈を広げる良い機会になった。被招へい者はこれから IANCU で博士課程の学生として研究者人生を歩み始めるが、今回の滞在はその意味でも良いタイミングであり、将来を考える良い機会となったのではないかと想像される。